

公益財団法人 第五福竜丸平和協会
平成27年度事業計画

広島・長崎70周年に当たり、昨年のビキニ水爆事件・第五福竜丸被ばく60年事業を継続発展させる活動を進める。

公益目的事業

東京都の受託事業としての第五福竜丸展示館の管理・運営が当法人の基本的な事業である。開館日は、定められた休館日を除き308日となる。

引き続き、団体見学をはじめ全ての来館者に対するガイド・解説を実施する。来館者の増加のため広報活動を積極的に行う。

■企画展（展示替）等

当年度はラッセル・アインシュタイン宣言60周年に当たるため、これを記念した特別展を6月下旬から7月上旬にかけて行う。

当年度の第1回企画展として、新井卓ダゲレオ写真展「核・放射能を見る（仮題）」を7月16日～9月23日に行う。

第2回展示替として常設展示パネルの一部リニューアルを行う。（1）核爆発年表の追加、（2）年表パネルの新規作成、（3）第五福竜丸の保存。

■船体、エンジンの現状調査及び今後のための調査のとりくみ

日塔和彦評議員を中心に、東京文化財研究所、筑波大学など専門家の調査チームを編成し作業、都へ提出する報告書・提言の作成

■開館39年となる展示館施設の経年劣化に対する改修の取り組み、都への要請

展示館開館40周年（2016年）に向けての取り組み
記念事業（企画展、記念冊子刊行など）

■来館者増加の取り組み、賛助会員、ニュース会員の拡大

■各地での第五福竜丸パネル展、マーシャル諸島の核被害展等開催よびかけ

出版事業等

- 60年記念事業の報告集及び市民講座からのブックレット編集・発行
- 2020年東京オリンピック開催に向けて、第五福竜丸展示館の広報宣伝や展示解説を英語はもとより、中国語、韓国語でも行えるよう検討を開始する
- 協会としてのリーフレット作成・新ホームページ公表
- 絵本、紙芝居の製作を検討する。子どもから大人までを対象に企画の検討を進める。
- ビキニ事件に関する資料収集、調査、研究会を前年度に引き続き継続する。
- 職員の新規採用